



2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月18日

上場会社名 株式会社 ブロンコピリー

上場取引所 東名

コード番号 3091 URL <https://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 コーポレート本部長 (氏名) 阪口 信貴 TEL 052 - 856 - 4129

四半期報告書提出予定日 2023年7月25日 配当支払開始予定日 2023年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	11,382		569		597		334	
2022年12月期第2四半期								

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 339百万円 (%) 2022年12月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	22.48	22.43
2022年12月期第2四半期		

当社は、2023年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	21,856	18,091	82.4
2022年12月期			

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 18,006百万円 2022年12月期 百万円

当社は、2023年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		8.00		8.00	16.00
2023年12月期		8.00			
2023年12月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,882		1,299		1,353		840		56.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2023年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	15,079,000 株	2022年12月期	15,079,000 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	213,886 株	2022年12月期	222,567 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	14,860,158 株	2022年12月期2Q	14,917,322 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ご馳走カンパニー」の実現という長期ビジョンを掲げ、持続的な企業価値の向上に取り組んでおります。消費者の外食へのニーズが“低価格で済ますための食事”と“高付加価値で体験型の楽しむための食事”へ「二極化」することを想定して、グループ全体での付加価値創造と向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間（自2023年1月1日至2023年6月30日）におきましては、ウクライナ情勢長期化による資源や原料供給網の弱体化、為替の急変動などで、原材料やエネルギーコストをはじめとした各種コストのかつてない上昇が高止まりし、収益性の改善においては厳しい状況にあります。外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の5類移行などで客数が順調に回復する中でも、食材価格や水光熱費、労働力不足による人件費上昇など、厳しい状況は依然として続いております。

こうした状況下、当社におきましてはコロナ禍でも品質の維持にもっとも重要な主力のパート・アルバイトの雇用維持に努めることで客数の回復にも状態を維持しながら営業ができております。それに加え、コロナ以前よりも集客が増えたランチタイムに対応できるようにランチメニューの絞り込みを行い、生産性向上と収益の適正化を行いました。ディナータイムではステーキ原料の調達幅を広げ、数量限定のお買い得ステーキを投入するなど、引き続き高付加価値ステーキの魅力を提供することでディナー集客の改善に努めてまいりました。さらに昨年子会社化した松屋栄食品本舗の製造ラインの半分を3月から5月にかけてbroncoビリー向けに改修を行い、店舗向けソース・ドレッシングなどの製造の移管を行いました。今後、松屋栄食品本舗で拡張されたbroncoビリー向けの製造ラインでさらなる商品品質向上と店舗数増加に対応できるようにグループとしての生産体制を整えております。

また、販促面では自社アプリに登録してもらってお客様の数を増やし、季節イベントを通して新規顧客並びにコア顧客層の再来店を促す取り組みを強化し、着実に実績を積み上げております。

そして店舗面では、九州地区に2店舗（久留米店、飯塚カホテラス店）、三重県に1店舗（三重川越店）、愛知県に1店舗（弥富イオンタウン前店）を開店しました。その結果、「broncoビリー」137店舗、「とんかつ かつひろ」1店舗の合計138店舗となっております（2023年6月末日現在）。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は113億82百万円、営業利益は5億69百万円、経常利益は5億97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億34百万円となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は218億56百万円となりました。流動資産は86億55百万円となり、その主な内訳は、現金及び預金71億19百万円であります。固定資産は132億1百万円となり、その主な内訳は、有形固定資産104億54百万円、投資その他の資産24億79百万円であります。

(負債)

一方、負債合計は37億65百万円となりました。流動負債は31億9百万円となり、その主な内訳は、買掛金5億93百万円、未払金12億61百万円であります。固定負債は6億55百万円となり、その主な内訳はリース債務2億41百万円、資産除去債務4億1百万円であります。

(純資産)

純資産合計は180億91百万円となり、自己資本比率は82.4%となりました。

なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より連結決算に移行いたしました。そのため、前連結会計年度に四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を作成していないことから、(1)経営成績に関する説明、(2)財政状態に関する説明において前年四半期及び前期末との比較分析は行っておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、60億93百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は12億76百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益を5億65百万円計上及び減価償却費が4億20百万円あったこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は6億53百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が6億36百万円及び差入保証金の差入による支出が22百万円あったこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は3億22百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が1億74百万円及び配当金の支払額が1億19百万円あったこと等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績値等を踏まえて修正いたします。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,119,087
売掛金	733,406
商品及び製品	132,443
原材料及び貯蔵品	350,965
前払費用	271,113
その他	48,021
流動資産合計	8,655,037
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物 (純額)	6,892,035
機械装置及び運搬具 (純額)	161,166
工具、器具及び備品 (純額)	626,825
土地	2,724,457
その他 (純額)	49,609
有形固定資産合計	10,454,094
無形固定資産	268,303
投資その他の資産	
投資有価証券	137,575
長期預金	1,000,000
差入保証金	1,082,389
その他	259,070
投資その他の資産合計	2,479,034
固定資産合計	13,201,432
資産合計	21,856,469
負債の部	
流動負債	
買掛金	593,202
短期借入金	58,360
1年内返済予定の長期借入金	294,000
リース債務	21,113
未払金	1,261,722
未払法人税等	301,027
契約負債	96,215
賞与引当金	55,321
販売促進引当金	76,308
その他	352,524
流動負債合計	3,109,795
固定負債	
リース債務	241,029
資産除去債務	401,686
その他	12,866
固定負債合計	655,582
負債合計	3,765,378

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)	
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,210,667
資本剰余金	2,122,380
利益剰余金	14,132,869
自己株式	△487,009
株主資本合計	17,978,907
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	27,349
その他の包括利益累計額合計	27,349
新株予約権	84,834
純資産合計	18,091,090
負債純資産合計	21,856,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,382,263
売上原価	4,029,329
売上総利益	7,352,934
販売費及び一般管理費	6,783,196
営業利益	569,738
営業外収益	
受取利息	2,322
受取配当金	1,556
受取賃貸料	20,045
協賛金収入	12,403
その他	8,205
営業外収益合計	44,532
営業外費用	
支払利息	438
賃貸費用	11,870
その他	4,825
営業外費用合計	17,134
経常利益	597,136
特別損失	
固定資産除売却損	1,944
減損損失	26,814
その他	3,138
特別損失合計	31,896
税金等調整前四半期純利益	565,239
法人税、住民税及び事業税	239,262
法人税等調整額	△8,119
法人税等合計	231,143
四半期純利益	334,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	334,096

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	334,096
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	5,689
その他の包括利益合計	5,689
四半期包括利益	339,786
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	339,786
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	565,239
減価償却費	420,978
減損損失	26,814
のれん償却額	2,727
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,226
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	1,863
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16
受取利息及び受取配当金	△3,878
支払利息	438
固定資産除売却損益 (△は益)	1,944
売上債権の増減額 (△は増加)	112,501
棚卸資産の増減額 (△は増加)	241,489
前払費用の増減額 (△は増加)	△53,501
仕入債務の増減額 (△は減少)	△207,016
未払金の増減額 (△は減少)	273,298
契約負債の増減額 (△は減少)	24,371
その他	△61,654
小計	1,351,826
利息及び配当金の受取額	3,878
利息の支払額	△438
法人税等の支払額	△78,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,276,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△885
有形固定資産の取得による支出	△636,956
無形固定資産の取得による支出	△4,505
差入保証金の差入による支出	△22,740
建設協力金の回収による収入	11,645
その他	128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△174,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18,336
リース債務の返済による支出	△10,798
自己株式の取得による支出	△80
配当金の支払額	△119,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322,278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	300,774
現金及び現金同等物の期首残高	5,657,513
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	134,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,093,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。